

## 単元名 割合

配当時間 9時間

単元の目標 (1) 割合の意味と表し方を理解し、百分率などを用いて数量の関係を正しく捉えて計算処理することができる。  
 (2) 身近な問題を解決するために、割合の和や差、積を使って考えることができる。  
 (3) 割合で考えることのよさを知り、これを用いて数量の関係を判断しようとする。

## 標準的な展開例

05040209\_001

【準備等】電卓、定規

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 割合の意味を知り、単元の学習課題をつかむ。[p. 172・p. 173]</p> <p>○演奏する楽器の定員と希望者数の表を見て、希望者数の多さについて話し合う。</p> <p>○単元の学習課題をつかむ。  <b>★</b>いろいろな数量のくらべ方や表し方について考えていこう。          ○オルガンとけんぱんハーモニカの希望者は、それぞれの定員の何倍になっているか求める。</p> <p>○割合の意味を知る。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>2 全体と部分、部分と部分の割合を求める。[p. 174]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。  <b>★</b>割合を求めよう。          ○全体と部分の割合を求める。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>3 もとにする量と割合から、比べる量の求め方を考える。[p. 175]</p> <p>○「みんなで考える問題」を読み、本時の学習課題をつかむ。  <b>★</b>くらべる量の求め方を考えよう。          ○比べる量の求め方を考える。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>4 比べる量と割合から、もとにする量の求め方を考える。[p. 176・p. 177]</p> <p>○「みんなで考える問題」を読み、本時の学習課題をつかむ。  <b>★</b>もとにする量の求め方を考えよう。          ○もとにする量の求め方を考える。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>5 百分率の意味を知り、百分率と小数倍との関係について考える。[p. 178]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。  <b>★</b>百分率の意味について考えよう。          ○割合を求める問題を解き、百分率の意味を知る。</p> <p>○百分率と小数倍との関係を捉える。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p>	<p>・割合は、ある量をもとにして、比べる量がその何倍に当たるかを表した数であるので、もとにする量と比べる量を区別して捉えさせることが大切である。</p> <p>・希望者数に着目させて、それぞれの楽器を比較させる。また、2つの量に着目させて、人気がある楽器はどれかについて話し合わせるとよい。</p> <p>【評】話し合い活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・何倍になっているかは、希望者÷定員で求められることを確認し、式に当てはめて求めさせる。</p> <p>・関係図を使って、小数倍の意味（定員と希望者数の関係）を理解させる。</p> <p>・割合は、もとにする量を1としたときの比べる量の大きさを表したものであることを理解させる。</p> <p>【評】割合の意味を理解し、割合を求める活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・関係図や線分図などを用い、数値の関係を正しく把握させる。</p> <p>・何が何の何倍かを明確にして、何を1として考えているのかを常に明確にしておく。</p> <p>【評】割合を求める活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・関係図や線分図を基にして、比べる量の求め方を考えさせる。</p> <p>【評】比べる量を求める活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・関係図や線分図を基にして、もとにする量の求め方を考えさせる。</p> <p>・□人の1.6倍が24人という考え方から、前時の比べる量の求め方を基に考えさせる。</p> <p>【評】もとにする量を求める活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・買い物を想起させ、興味付けを図る。</p> <p>・百分率の用語と、1%の意味について知らせる。</p> <p>・数直線を使って考えさせるとよい。</p> <p>・百分率は100%を超えるときもあることを確認する。</p> <p>・百分率を求めるとき、割合を小数で表してから百分率に直せばよいことを解決の見通しの段階で気付かせておく。</p> <p>【評】百分率と小数倍との関係を理解する活動</p>

<p>6 百分率を使った問題で、比べる量やもとにする量の求め方を考える。[p. 179]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 割合が百分率で表された問題について考えよう。</li> <li>○ もとにする量を求める問題を解く。</li> <li>○ 比べる量を求める問題を解く。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>7～8 割合の和や差を求めて、もとにする量の何倍にあたるかを考える。[p. 180・p. 181]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ ね引きされたあとの代金を求めよう。</li> <li>○ 割合の差から、比べる量がもとにする量の何倍にあたるかを考える。</li> <li>○ 答えを求め、線分図を使って確かめる。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 代金がもとのねだんの何倍かを考えて、もとのねだんを求めよう。</li> <li>○ 「みんなで考える問題」に取り組む。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>9 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 182・p. 183]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「たしかめよう」に取り組む。</li> <li>○ 単元の振り返りを書く。</li> </ul>	<p>を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 百分率を小数倍に直してから求めることに気付かせる。</li> </ul> <p>【評】 比べる量やもとにする量を求める活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 線分図を用いて、2つの量の和や差の関係を調べさせ、関係図に表して考えさせるとよい</li> <li>・ 値段の10%引きは、値段の90%であることに気付かせる。</li> </ul> <p>【評】 割合の和や差を使った問題に取り組む活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代金は、もとの値段の何%かを考えるとよいことに気付かせる。</li> </ul> <p>【評】 割合の和や差を使った問題に取り組む活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。</li> <li>・ 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。</li> </ul> <p>【評】 問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 割合について分かったことやできるようになったこと、もっとやってみたいことなどを書かせる。</li> </ul>
---	---

#### 【 備 考 】

児童は「小数×小数」で小数倍とその求め方を学習し、比べる量を求める簡単な問題を経験している。本単元はこれを受けて、割合や百分率の意味とその活用、割合のグラフなどを学習する。割合は、児童にとって理解が難しい内容であるので、関心・意欲を高める場面を設定したり、数値を容易にしたりするなど、単元構成や授業展開を工夫する必要がある。